

どんどん進めよう！

# 古紙のリサイクル

市のごみ減量化・リサイクル推進の基本計画である「さっぽろごみプラン21」の計画では、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を分担し、平成二十六年までに達成すべき三つの数量目標を定めています。先に発表された昨年度の家庭から出されたごみの量は、平成十五年度に比べ約〇・七割減りました。

しかし、このうち、再資源化されず焼却や埋め立て処理されるごみの量は約四十四万トン。目標としていた四十二万九千百トンを下回る結果となりました。処理費用の軽減やエネルギー資源の節約、埋め立て地の延命化のためにも、私たち一人ひとりが意識してごみを減らしていくことが必要です。

今月は、古紙のリサイクルについてご紹介します。

## 古紙はごみ？

### それとも資源？

新聞や雑誌、トイレットペーパーやティッシュペーパーなど、紙は私たちの生活に欠かせることができない存在。しかし、紙を作るためにはたくさんの森林資源とエネルギー資源を消費してしまいます。地球環境を守るためにも、古紙は可能な限り再利用しなければなりません。

古紙一トンは、高さ八尺直径十四センチの木約二十本に相当し、新しいパルプから紙を作る場合に比べ、三分の一の工

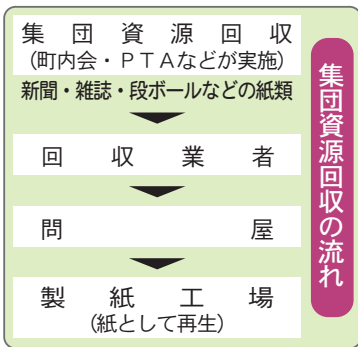
ネルギーで済むといわれています。

さまざまな製品となって私たちの暮らしの中に戻ってくる古紙。ごみステーションに出してしまうと、せつかくの資源をムダにしてしまうことになります。

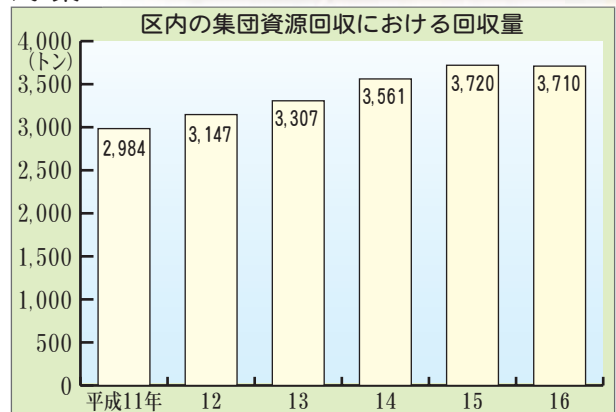
## 古紙リサイクルの要

### 集団資源回収

読み終えた雑誌や古新聞、段ボールなど家庭から出された古紙類を、町内会やPTAなどの地域の皆さんが一定のルールで協力して集め、資源



回収処理ルートに乗せる「集団資源回収」。市では、住民団体が自主的に行うこの活動を古紙リサイクルの中心と位置付け、市に登録している団体に奨励金を交付しています。平成十六年には、区内で百三十七の団体が、約三千七百



十トンの再生可能な資源を回収しました。

ご家庭の不要な古紙は集団資源回収に出しましょう。

## ご存知ですか

### 古紙回収ボックス

月一回程度の頻度で行われる集団資源回収ですが「回収日に出しそびれてしまった」「保管しておくスペースがない」といったときは各区役所(二部の区は区民センター)に設置している「古紙回収ボックス」をご利用ください。家庭から発生した古紙であ

れば自由に持ち込むことができます。

このほか、平成十六年七月からは、市内に六十カ所以上ある「古紙回収協力店」でも左記と同じ回収品目を受け入れていきます。

## 古紙回収ボックス設置場所



## 利用時間

月～金曜日の  
午前8時45分～午後5時15分  
(祝日、休日、年末年始を除く)

## 回収品目



新聞



雑誌



段ボール

## ルール

- ①種類ごとに「ひも」でしばる。
- ②古紙以外はまぜない。

家庭から出る古紙のリサイクル・集団資源回収のことは、環境局環境事業部ごみ減量推進課  
☎(21)29228